

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名: 交付件数	指標の求め方: 1年間の交付件数
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名: 事業に対する満足度	指標の求め方: 事業完了後の会館等使用再開時における事業に対する満足度 (5段階評価中、大変良い、良いの回答を得た割合)

			第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画					第7期 総合計画 合計
			第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合計	
指標	活動指標 1 (単位/件)	計画値 実績値	5 7	5 6	5 11		5 5	5 5	5 5		5 5	5 5	5 5	5 5		
	成果指標 1 (単位/%)	計画値 実績値	80 100	80 83	80 82		80 80	80 80	80 80		80 80	80 80	80 80	80 80		
事業 評価 内容	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)				ほぼ達成されている											
	事業の成果 (成果指標をもとに評価)				上がっていない											
	事業の効率性 (事業費に対する成果)				上がっていない											
	総合評価				普通である											
	総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析: 活動指標、成果指標による実績値は共に計画値を上回っている。地域住民のコミュニティ形成を図る場としての町内会館を確保する効果があったと考えられる。また、事業について理解が進み、問い合わせも増えていることから、会館の維持管理についての意識が向上していると考えられる。	自己分析: 前年度に比べ、活動指標、成果指標による実績値は共に減少したが、計画値を上回っている。安心・安全に地域住民のコミュニティ形成を図る場としての町内会館を確保する効果があったと考えられる。	自己分析: 交付件数については昨年度より増加し、活動指標は目標値を達成した。事業に対する満足度については昨年度より減少したが、成果指標は目標値を達成した。安心・安全に地域住民のコミュニティ形成を図る場としての町内会館を確保する効果があったと考えられる。	判断理由: 地域コミュニティ形成の場である町内会館の建設等に対し補助することは町内会活動の支援につながる事業であり、町内会が必要に応じて補助申請を行うことから、3・4年度の実績としては一定の効果があったものと考えられるため「普通である」と判断した。	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:		
今後の方向性				現状のまま継続												
方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)	R5: 事業の目的や対象について理解が進み、一定の効果があったものと考えられるため、安心・安全に地域住民のコミュニティ形成を図る場としての町内会館を確保していくため「現状のまま継続」とした。				R8:				R10:							

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名: 町内会連合会事業への補助額	指標の求め方: 町内会連合会事業への補助額
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名: 町内会加入世帯数	指標の求め方: 町内会加入世帯数 (計画値は人口ビジョンによる減少率を反映)

		第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画				第7期 総合計画 合計
		第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	
指標	活動指標 1 (単位/千円)	計画値 528	実績値 528	計画値 528	実績値 528	528	528	528	528	528	528	528	528	
	成果指標 1 (単位/人)	計画値 6,262	実績値 6,194	計画値 6,186	実績値 6,090	6,112	6,039	5,966	5,885	5,804	5,725	5,646	5,569	
事業 評価 内容	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)				達成されている									
	事業の成果 (成果指標をもとに評価)				上がっていない									
	事業の効率性 (事業費に対する成果)				上がっていない									
	総合評価				普通である									
	総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析: 補助金の交付により連合会は健全に運営されており、行政と町内会の連携も図られている。成果指標については、砂川市の人口減少が人口ビジョンを上回るスピードで進んでいることもあり、達しなかった。	自己分析: 補助金の交付により連合会は健全に運営されており、行政と町内会の連携も図られている。成果指標については、砂川市の人口減少が人口ビジョンを上回るスピードで進んでいることもあり、計画値に達しなかった。	自己分析: 補助金の交付により連合会は健全に運営されており、行政と町内会の連携も図られている。成果指標については、砂川市の人口減少が人口ビジョンを上回るスピードで進んでいることもあり、計画値に達しなかった。	判断理由: 補助金の計画値どおりの交付により、連合会は健全に運営されており、行政と町内会の連携も図られているが、成果指標である町内会加入世帯数が、砂川市の人口減少を上回るスピードで進んでいることもあり、達成度については若干低い評価となるため「普通である」と判断した。	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:
今後の方向性				現状のまま継続										
方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)	R5: 補助金の交付により町内会連合会の実施する事業が円滑に行われ、地域に暮らす人々とのつながりにより成り立つ地域コミュニティの最も基礎的な組織である町内会の活動の活性化を図ることができると考えるため「現状のまま継続」とした。 今後は、町内会の取り組みを広く知っていただき、多くの方が積極的に参加できるような体制をつくるため、市ホームページ、チラシの配布などにより町内会活動を紹介し加入促進を図っていきたい。				R8:				R10:					

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名: 補助金額	指標の求め方: 決定した事業への補助金支出額
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名: 制度利用率	指標の求め方: 制度を活用して地域コミュニティの強化・充実を図っている町内会数/全町内会数

		第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画				第7期 総合計 合計
		第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	
指標	活動指標 1 (単位/千円)	計画値 4,317	4,317	4,317		4,317	4,317	4,317		4,317	4,317	4,317	4,317	
		実績値 3,388	3,490	3,530										
成果指標 1 (単位/%)	計画値	90	90	90		90	90	90		90	90	90	90	
	実績値	93	95	94										
事業 評価 内容	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)				ほぼ達成されている									
	事業の成果 (成果指標をもとに評価)				少し上がっている									
	事業の効率性 (事業費に対する成果)				少し上がっている									
	総合評価				良好である									
	総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析: 新型コロナウイルス感染症の影響を受け事業を中止した町内会が多かったことに加え、予算額には若干の余裕を設定しているため、活動指標については達していないが、本制度の本来の目的については相当に浸透、普及が実現しており、活動実体のほぼ無い町内会を除き活用されている。また、各会長、役員から感想を聴取しているが、概ね好評を得ている。	自己分析: 新型コロナウイルス感染症の影響を受け事業を中止した町内会が多かったことに加え、予算額には若干の余裕を設定しているため、活動指標については達していないが、本制度の本来の目的については相当に浸透、普及が実現しており、活動実体のほぼ無い町内会を除き活用されている。また、負担の軽減と利便性向上のためオンラインでの申請を開始し、申請32件、実績報告16件の電子申請があった。	自己分析: 新型コロナウイルス感染症の影響で中止していた事業を再開する町内会が少なかったことに加え、予算額には若干の余裕を設定しているため、活動指標については達していないが、本制度の本来の目的については相当に浸透、普及が実現しており、活動実体のほぼ無い町内会を除き活用されている。今後はHP掲載や町内会回覧での活動紹介の件数を増やしていき、町内会事業の促進を図る。	判断理由: 活動指標については、予算額に若干の余裕を設定していることから達していないが、本制度の本来の目的については相当に浸透、普及が実現しており、活動実体のほぼ無い町内会を除き活用されている。また、各会長、役員から感想を聴取しているが、概ね好評を得ているため「良好である」と判断した。	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:
今後の方向性				現状のまま継続										
方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)	R5: 本制度の本来の目的については相当に浸透、普及が実現しているが、全町内会に活用されることを達成するため継続していくこととしたい。また、町内会では高齢化や担い手不足などの課題を抱えており、行政としては地域コミュニティの維持のために必要な支援策について、今後も検討していく必要があるため「現状のまま継続」とした。				R8:				R10:					

第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

【PLAN】

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載	×	過疎計画掲載	×
--------	---	--------	---

事業名	コミュニティセンター管理運営事業				事業期間	平成14年度 ～ 年度									
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画の位置付け	6-2-1	他に関連する基本事業	—	—	—	—	—	—	所管課係	市民生活課生活交通係
目的 (何のために実施するのか)	地域住民の生活、文化および教養の向上並びに健康の増進を図る。						手段 (どのような方法で実現するのか)		地域町内会により設立されたそらっぷセンター運営委員会、砂川市東地区コミュニティセンター管理運営協議会及び南コミュニティセンター運営委員会を指定管理者に指定し、管理運営を委託する。 指定管理者は市からの管理委託費、利用料金収入及び負担金により運営を行う。						
対象 (誰・何を対象としているのか)	主として空知太地域、東地域、南地域の住民						成果 (どのような効果が得られるのか)		地域住民が主体的に管理運営を行うことから、施設利用について有効活用が図られ、管理経費の削減も図られる。 また、地域のコミュニティ活動、文化・レクリエーション活動、軽スポーツ等を行える施設として気軽に利用されることで、地域のコミュニティの輪が広がる。						
事業開始時の状況・これまでの経緯	下記の時期から、各団体に維持管理を委託し、平成18年4月1日より指定管理者に移行した。 そらっぷセンター運営委員会に平成14年12月、砂川市東地区コミュニティセンター管理運営協議会に平成15年4月、南コミュニティセンター運営委員会に平成17年9月。														

【DO】

実績

(単位：円)

投入された事業費の推移	国費 道費 地方債 その他	第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画				第7期 総合計 合計		
		第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)		実施4カ年 合計	
事業費	一般財源	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	事業費合計	計画額	4,408,000	3,809,000	3,809,000	12,026,000	4,536,000	4,536,000	4,536,000	13,608,000	4,536,000	4,536,000	4,536,000	4,536,000	18,144,000	43,778,000
		予算計上額	4,408,000	4,305,000	4,159,000	12,872,000	5,263,000			5,263,000						18,135,000
		実績額	4,392,845	4,228,443	5,345,731	13,967,019				0						13,967,019
	事業費予算の内容	計画額	北コミ 1,813千円 南コミ 1,976千円 東コミ 619千円	北コミ 1,810千円 南コミ 1,909千円 東コミ 586千円	北コミ 1,803千円 南コミ 1,977千円 東コミ 379千円		北コミ 1,965千円 南コミ 2,144千円 東コミ 1,154千円									
		前年度予算との比較 (増減理由)	主に保守点検委託料が上がったことによる増				主に灯油単価の増				管理員経費の見直し等による委託料の増					
		実績との比較 (増減理由)	各コミュニティセンターの端数の積み上げによる減				年度途中で急を要する修繕が発生したことによる増。									

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名：委託料	指標の求め方：委託料合計
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名：コミュニティセンター利用者数	指標の求め方：年間延べ利用者数

		第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画				第7期 総合計画 合計
		第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	
指標	活動指標 1 (単位/千円)	計画値 4,408	3,809	3,809		4,536	4,536	4,536		4,536	4,536	4,536	4,536	
		実績値 4,394	15,416	20,746										
指標	成果指標 1 (単位/人)	計画値 22,165	22,165	22,165		22,165	22,165	22,165		22,165	22,165	22,165	22,165	
		実績値 8,876	13,462	17,866										
事業 評価	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)				ほぼ達成されている									
	事業の成果 (成果指標をもとに評価)				あまり上がっていない									
	事業の効率性 (事業費に対する成果)				あまり上がっていない									
	総合評価				普通である									
	総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析： 成果指標である年間延べ利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により全体として減少傾向にあり、主に北と南コミュニティセンターが大幅に減少した。今後も施設の周知を継続し、利用者数の維持・増加に努めたい。	自己分析： 成果指標である年間延べ利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響から回復し増加傾向にある。今後も施設の周知を継続し、利用者数の維持・増加に努めたい。	自己分析： 成果指標である年間延べ利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響から回復し増加傾向にある。今後も施設の周知を継続し、利用者数の維持・増加に努めたい。	判断理由： 事業の達成度は一定の評価ができるが、成果指標である利用者数が計画値に満たないことなどから、総合評価は「普通である」とした。	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：
今後の方向性				現状のまま継続										
方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)	R5： 引き続き事業を継続し、地域住民の生活、文化および教養の向上並びに健康の増進を図るため、効率的な運営と利用者数が増加するよう努める必要がある。 管理委託費については、原油価格や物価高騰による燃料費や光熱水費の増加、最低賃金上昇や人手不足による管理員報酬の見直しが必要となっており全体で増加傾向にある。				R8：				R10：					